

# JFEビル事業戦略

JFEビルは17年度を終期とする3カ年の中期経営計画で連結売上高1千億円、経常利益50億円と意欲的な目標を掲げている。事業の現状と展望を藤井善英社長に聞いた。

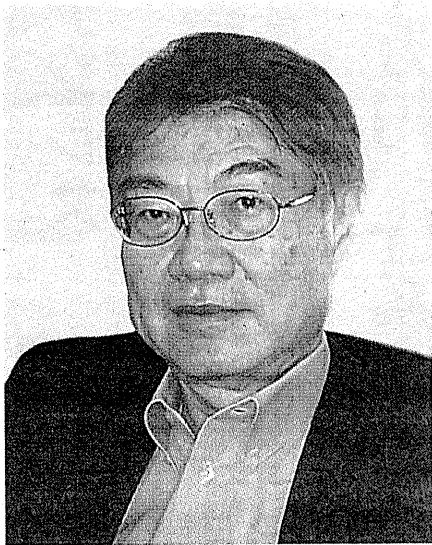
—15年度を振り返っていかがですか。

「大型物流倉庫の着工を中心に堅調で施設の大遅れにより連結売上高は型化が進んでいる。昨年当初予想を下回る705億円となったが、利益はシカメラアッセンブリ大幅に増加し過去最高の経常利益50億円となった。中期の収益目標を1年目で達成できたのは、得意な大型物流施設を中心に継続的に取り組んできたことで、効率化が図られたことが大きい。労務費の上昇も想定よりは少なかった。受注も堅調で15年度は975億円と前年を300億円近く上回り、こちらも過去最高となった。」

—「連結売上高850億円、経常利益55億円を目標とする。」

—「事業環境の認識」

## 藤井 善英社長に聞く



# 大型物流施設中心に受注拡大

標としている。いずれも過去最高となるが、滑り出しは順調だ。中計の最終目標である連結売上高1千億円につながる年と17年度は前年比約5割増として期待している。懸念事項は東京五輪関連の工事本格化による人手不足を背景とした労務費の上昇で、その幅がどの程度になるかは不透明感が強い。事業部別の目標

注し一部で工事が始まるなど足がかりはつき始めている。システム建築事業は「二柱一杭工法」を武器に積極的な拡販に努め、前年比約3割増となる売上高180億円を目指す。特にメタルビルは堅調

## 旺盛な需要、工事要員増で対応

ドメタル」は千葉県の栄カントリーのボックスカルバートの補修工事に採用されたほか、「橋脚ダンパー」はNEXCO案件で引き合いがある。時間はかかるが少しずつ実績を重ねたい。—「子会社についてお聞きしたい。」

—「村上海」